

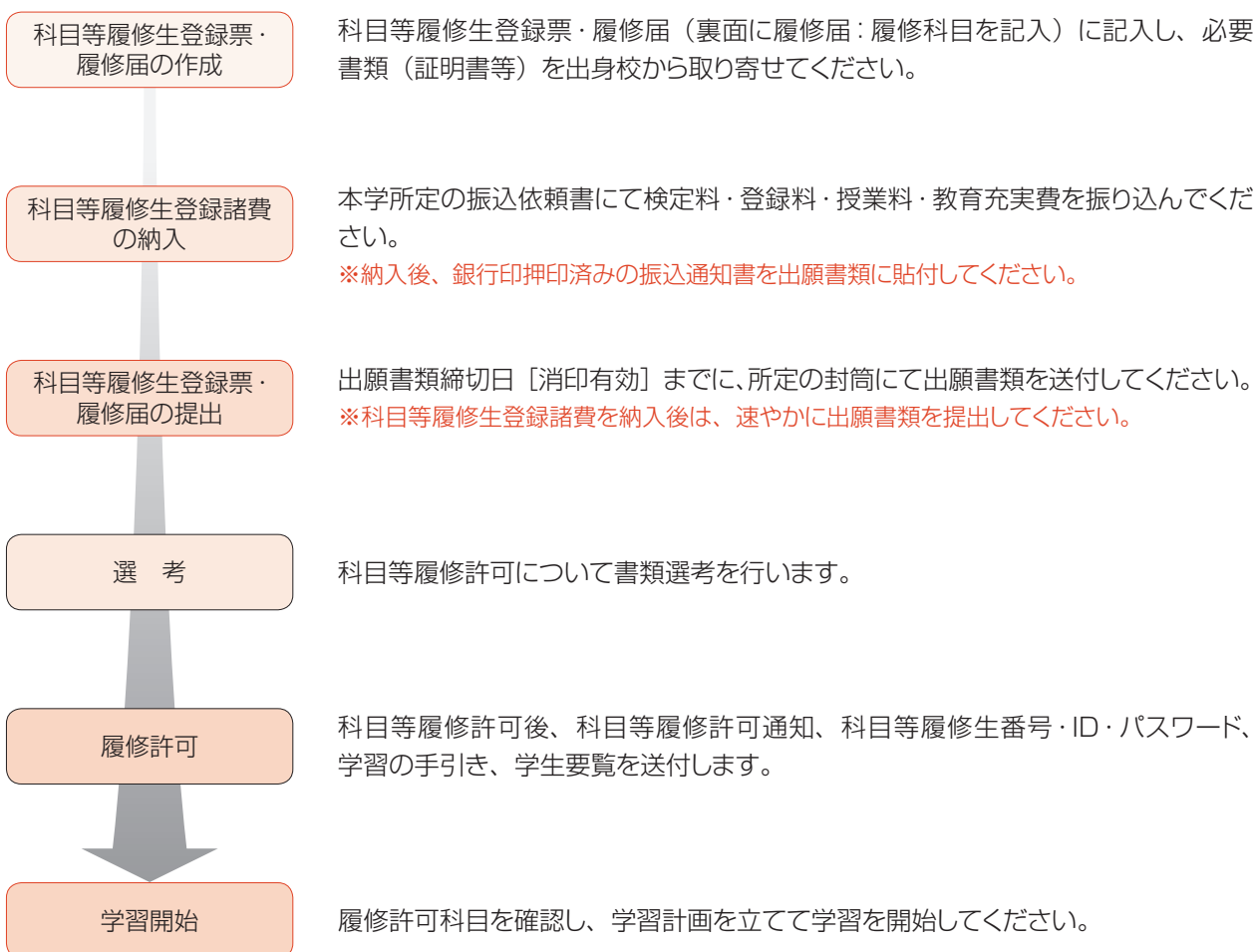
科目等履修生募集について

出身大学での教職科目の未修得科目（「教育実習」「介護等の体験」を除く）を修得する場合、現職教員が上級免許状を取得する場合、幼稚園教諭普通免許状所有者が保育士試験免除制度を利用して保育士資格を取得する場合、または教養のための学習は、この方法で科目・単位を修得します。

1. 在籍期間と履修上限単位

- 科目等履修生の履修期間は1年間です。この期間を超えて引き続き学習する場合は、1年ごとに所定の手続きが必要になります。
- 1年間に履修登録できる単位の上限は30単位です。したがって、31単位以上を履修登録する場合は、2年目以降に科目等履修生として改めて登録手続きが必要になります。

2. 科目等履修生の出願から学習開始まで



【注意】分割履修の禁止

科目の構成単位を分割して修得することはできません。例えば、2単位で構成されている科目を1単位だけ修得することはできません。

3. 科目等履修生の学習期間について

科目等履修生の学習期間は1年間です。2012年度の各学習の最終期限は、次のとおりです。（年度により異なります。詳しくは入学後に「親和通信」（機関誌）でお知らせします。）

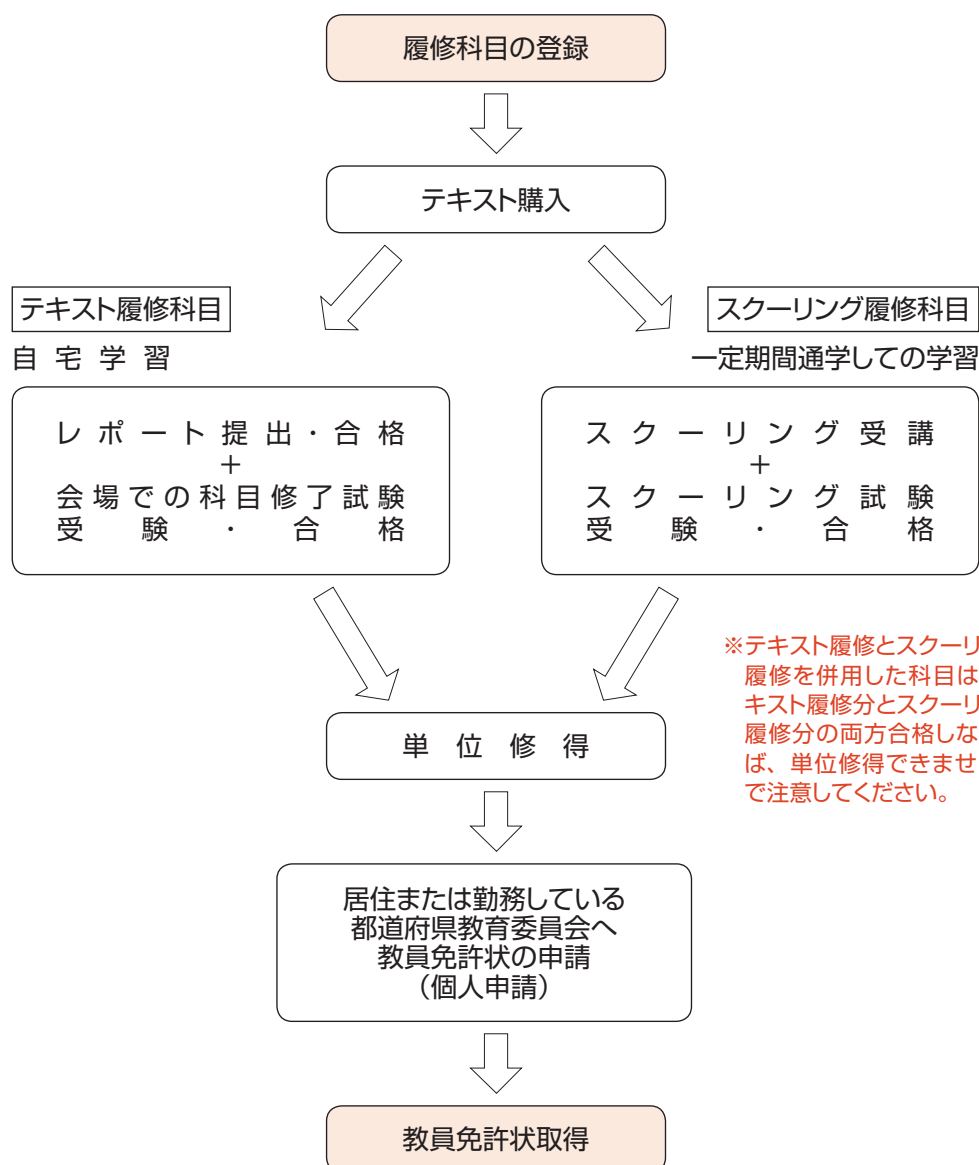
最終期限までにレポート提出および科目修了試験受験またはスクーリング受講して、合格しなければ単位は修得できません。

◎科目等履修生の学習の最終期限について

登録	レポート提出	科目修了試験受験	スクーリング受講※
4月	翌年1月	翌年2月	翌年2月
10月	翌年7月	翌年8月	翌年8月

※最終期限に関する日程及び科目名については、入学後にお知らせします。

■ 単位修得・教員免許状取得までの流れ



4. 出願書類一覧

提出された出願書類・証明書等は一切返却できませんのであらかじめご了承ください。

① 科目等履修生登録票・履修届

『2012年度入学出願書類』の科目等履修生登録票・履修届を使用し、p.140~p.142の記入例を参照のうえ、本人自筆で正確に記入してください。黒インクまたは黒ボールペンを使用して記入してください。**(鉛筆書き不可)** 写真貼付欄に写真(タテ4.5cm×ヨコ3.5cm、カラー・光沢仕上げ**<スナップ写真不可>**、3ヶ月以内撮影、半身脱帽・無背景・正面向、裏面に氏名明記)を貼り付けてください。

保証人は本人の履修中の一切の義務と責任を引き受けてくれる**成年者(親族が望ましい)**に依頼してください。

② 写真票・入学時納入振込通知書貼付台紙

サイズ タテ4.5cm×ヨコ3.5cm、カラー・光沢仕上げ**(スナップ写真不可)**、3ヶ月以内撮影、半身脱帽・無背景・正面向の写真を貼り付けてください。写真裏面に必ず氏名を明記してください。

後日、科目等履修生証作成用にさらに1枚同じ写真が必要になりますので、あらかじめご用意ください。銀行で、登録諸費を納入し、その際受領した振込通知書(銀行印押印済)を貼り付けてください。

※写真は、科目等履修生登録票用、写真票用、科目等履修生証作成用の合計3枚必要です。

③ 宛名カード(2連シール)

本学から連絡事項をお知らせする際に使用しますので、郵便物が正確に届くように**(2枚とも)**記入してください。

④ 必要な証明書類

【注意事項】

- ① 証明書類**(厳封のもの)**はすべて**6ヶ月以内**に発行されたものを提出してください。
- ② **「学業成績証明書」**は、在学中に修得した全科目の評価と単位が明記されているものを提出してください。
- ③ 証明書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は**戸籍抄本(「個人事項証明」可)**を提出してください。
- ④ 証明書類は、出身学校が発行する**原本(コピー不可)**を提出してください。

最終学歴	必要書類
高等学校卒業生	●「卒業証明書」
高等学校卒業程度認定試験合格者 (含む大学入学資格検定合格者)	●「合格成績証明書」 (合格年月日の記載があるもの)
大学又は短期大学卒業生	●「卒業証明書」および「学業成績証明書」

*専門学校専門課程卒業生は、高等学校の「卒業証明書」を提出してください。

*大学院、専攻科修了者は、大学又は短期大学の「卒業証明書」および「学業成績証明書」を提出してください。

<以下は、該当する方のみ提出>

⑤ 改姓を証明する書類

提出する各種証明書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は**戸籍抄本(「個人事項証明」可)**を提出してください。

⑥ 幼稚園教諭免許状の写し(裏面記載のあるものは、裏面のコピーも必要)

幼稚園教諭普通免許状所有者で、保育士試験免除制度の利用希望者は、必ず提出してください。

<注意> 提出した出願書類に不備があった場合、証明書類の不足があった場合は、受理できませんので、受付締切日【消印有効】までに充足するようにしてください。

5. 科目等履修生登録諸費

科目等履修生の登録諸費は次表のとおりです。履修単位に応じて一括納入となります。

■ 登録時に必要な諸費

(単位：円)

単位数	入学検定料	登録料	授業料 (1単位につき 5,000円)	教育充実費 (年額)	合計
1	10,000	40,000	5,000	15,000	70,000
2	10,000	40,000	10,000	15,000	75,000
3	10,000	40,000	15,000	15,000	80,000
4	10,000	40,000	20,000	15,000	85,000
5	10,000	40,000	25,000	15,000	90,000
6	10,000	40,000	30,000	15,000	95,000
7	10,000	40,000	35,000	15,000	100,000
8	10,000	40,000	40,000	15,000	105,000
9	10,000	40,000	45,000	15,000	110,000
10	10,000	40,000	50,000	15,000	115,000
11	10,000	40,000	55,000	15,000	120,000
12	10,000	40,000	60,000	15,000	125,000
13	10,000	40,000	65,000	15,000	130,000
14	10,000	40,000	70,000	15,000	135,000
15	10,000	40,000	75,000	15,000	140,000
16	10,000	40,000	80,000	15,000	145,000
17	10,000	40,000	85,000	15,000	150,000
18	10,000	40,000	90,000	15,000	155,000
19	10,000	40,000	95,000	15,000	160,000
20	10,000	40,000	100,000	15,000	165,000
21	10,000	40,000	105,000	15,000	170,000
22	10,000	40,000	110,000	15,000	175,000
23	10,000	40,000	115,000	15,000	180,000
24	10,000	40,000	120,000	15,000	185,000
25	10,000	40,000	125,000	15,000	190,000
26	10,000	40,000	130,000	15,000	195,000
27	10,000	40,000	135,000	15,000	200,000
28	10,000	40,000	140,000	15,000	205,000
29	10,000	40,000	145,000	15,000	210,000
30	10,000	40,000	150,000	15,000	215,000

- ・ 1年間に履修登録できる単位は、30単位までです。31単位以上履修登録される場合は、次年度に改めて登録手続きを行ってください。
- ・ 科目等履修継続料は、40,000円です。(ただし、次年度以降の諸費は改定することがあります。)
- ・ 授業料には、1年間の科目修了試験料、レポート添削料などの費用が含まれています。ただし、科目修了試験の再受験に際しては1科目1回につき1,000円が別途必要となります。
- ・ 「スクーリング履修科目」を履修する場合は、登録時の授業料とは別にスクーリング受講時に、スクーリング受講料が必要となります。<登録時にスクーリング受講料を納付する必要はありません。>

[スクーリング受講料] 1単位5,000円 ただし、下表の科目は1単位10,000円(本学・三宮共通)

基礎体育学(1)、英語コミュニケーションⅠ(1)、英語コミュニケーションⅡ(1)、体育(1)、音楽(1)、美術(1)、理科(2)、教科教育法・体育(2)、教科教育法・音楽(2)、教科教育法・図画工作(2)、教科教育法・理科(2)、保育の心理学(1)、保育内容の研究・健康(1)、保育内容の研究・人間関係(1)、保育内容の研究・環境(1)、保育内容の研究・表現(2)、保育内容の研究・表現技術A(2)、保育内容の研究・表現技術B(2)、社会福祉援助技術(2)、乳児保育Ⅰ(1)、障害児保育論Ⅰ(1)、養護内容(1)、小児栄養(2)、小児保健実習(1)、体力測定評価(1)、健康運動実践(1)

[()内は、スクーリング単位数]

- ・ テキスト代は、含まれていません。(テキスト代：1科目1,000円～3,000円程度 参考文献を除く) ※テキストは各自で必要分を購入。
- ・ レポート用紙(25枚)と封筒(5枚)は、科目等履修許可時に同封しますが、それ以降は各自で購入してください。

【注意事項】

- ・登録諸費は、出願書類を送付する前に納入してください。（登録諸費納入後、大学に出願書類が届いた時点で受付となります。）
- ・科目等履修不許可の場合は、入学検定料を除いて返金します。
- ・ATMおよび本学窓口での納入はできません。（振込手数料は、志願者負担。）
- ・出願辞退時・登録辞退時の返金については、次表を参照してください。（※出願辞退・登録辞退については、通信教育部事務室にお申し出ください。／要手続）

出願辞退時・登録辞退時の返金について

	<出願辞退> 各出願期間 最終日より 1週間以内 ※1	<登録辞退> 各履修許可日の 前日まで ※2	<登録辞退>履修許可日以降	
			(4月入学生) 3月31日まで (10月入学生) 9月30日まで	(4月入学生) 4月1日以降 (10月入学生) 10月1日以降
入学検定料	返金する	返金しない	返金しない	返金しない
登録料		返金する	返金しない	
授業料			返金する	
教育充実費			返金する	

- ※1 出願期間については、p.27を参照してください。
- ※2 履修許可日については、p.27を参照してください。
- ※3 返金にかかる振込手数料は、志願者の負担とします。

●預金口座振替制度への加入について

本学では、科目等履修生のスクーリング受講料および科目修了試験再試験料については、「預金口座振替制度」により納入していただくことになっております。「預金口座振替制度」への加入については、履修許可通知に同封する「預金口座振替依頼書」での手続となります。

※「預金口座振替制度」とは、本学から請求されるスクーリング受講料等を学生各自の登録口座より自動的に引き落とすシステムです。

「預金口座振替制度」により、学費等の振込みに伴う時間的負担の軽減を図っております。

科目等履修終了後には、本契約を解除する必要があります。本契約解除のためには、ご本人から指定銀行に書面を提出していただくこととなります。なお、ご本人から銀行への契約解除の届出がない場合でも、長期間本学より請求がなければ、銀行は本契約が終了したものとして取扱います。（科目等履修終了後に本学より登録口座への学費等請求を行うことはありません。）

●クレジットカード機能付き科目等履修生証について

本学では、クレジットカード機能付き科目等履修生証を発行しています。科目等履修許可後に必要な手続きを行っていただくこととなります。

6. 科目等履修生で単位を修得して教員免許状を取得する方法について

教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則にしたがって、科目等履修により必要な単位を修得して教員免許状を取得することができる場合があります。

①「教育職員免許法第5条別表第1」により一部不足単位を修得する場合は、まず出身大学に不足する単位の確認をしてください。

教職経験を利用して②「教育職員免許法第6条別表第3」（p.101）～⑤「教育職員免許法第6条別表第7」（p.103）により免許の上進・取得を検討されている場合は、本学通信教育部事務室に出願前にお問い合わせください。（※所管の都道府県教育委員会に事前の確認が必要な場合もあります。）

教員免許状申請の際には、根拠法令に応じた「学力に関する証明書」（教員免許状申請用証明書）の提出が必要となります。根拠法令を必ずご確認ください。

「教育職員免許法施行規則に定める科目と本学開講科目対照表」（p.104～p.106）、「科目等履修生開講科目一覧」（p.108～p.111）を参照のうえ、履修が必要な科目について「履修届」（科目等履修生登録票裏面）に記入してください。

① 教育職員免許法第5条別表第1により一部不足単位を修得する場合

取得しようとする教員免許状の課程認定（幼稚園又は小学校教員免許課程）を有する大学において教職課程を履修し、教員免許状取得に必要な単位の一部（教育実習を除く）を取り残して卒業した方が、不足する単位を修得する方法です。

なお、開講科目は新免許法（平成10年改正法）下によるものです。旧免許法（昭和63改正法）下の科目等履修はできません。

■ 取得できる教員免許状

学 歴	取 得 で き る 教 員 免 許 状
大 学 卒 業 者	幼稚園1種、小学校1種

〔注意〕

1. 小学校教員免許状取得希望者で「介護等の体験」が必要な場合は、3年次編入学（正科生または課程正科生）する必要があります。
2. 教育実習の単位の修得が必要な場合は、3年次編入学（正科生または課程正科生）し、本学が定める教育実習受講資格を充足することが必要です。

② 所有教員免許状による在職年数を資格にして上級免許状（2種→1種）を取得する場合（教育職員免許法第6条別表第3）

所有している教員免許状による在職年数を資格にして、上級の教員免許状（2種→1種）を取得する場合は、教育職員免許法第6条を根拠として取得します。教育職員免許法第6条は、教育職員検定の規定で、別表第3に定める教員としての在職年数とその在職年数に応じた科目の単位の修得し、検定により教員免許状を取得します。検定は授与権者（都道府県教育委員会）が行います。

受けようとする免許状	現在所有する免許状	現在所有する免許状を取得した後、当該学校において教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有することを必要とする最低在職年数（※ご自身でご確認ください。）	大学において修得を必要とする最低単位数（※修得方法については、所管の都道府県教育委員会でご確認ください。）
幼稚園1種免許状	幼稚園2種免許状	5年	45単位
小学校1種免許状	小学校2種免許状		

※最低在職年数を超える在職年数があるときは、5単位のその超える在職年数を乗じて得た単位数を最低単位数（45単位）から差し引くことができます。ただし、差し引くことのできる単位は、35単位が限度となります。（12年在職＝7年超過に該当）

- 例）在職年数 8年（3年超過）の場合 $45（単位） - 5（単位） \times 3（年） = 30$ 単位修得要
 在職年数10年（5年超過）の場合 $45（単位） - 5（単位） \times 5（年） = 20$ 単位修得要
 在職年数12年（7年超過）の場合 $45（単位） - 5（単位） \times 7（年） = 10$ 単位修得要

※短期大学卒業者で2種免許状取得後、在職年数が5年未満の場合は、科目等履修では1種免許状は取得できません。基礎資格として学士の学位（大学卒業）が必要となりますので、本学に3年次編入学のうえ、本学卒業と1種免許状取得に必要な科目・単位の修得してください。

出身短期大学で修得した「教科に関する科目」「教職に関する科目」については、出身短期大学発行の「学力に関する証明書」に基づいて科目対応の単位認定をします。ただし、2種免許状を取得する際に修得した単位は、免許法上の2種免許状を取得するための要件としての最低単位数までしか単位認定しません。（※単位認定の詳細はp.66を参照してください。）

なお、平成元年以前に短期大学に入学し2種免許状を取得した方で、「教育実習」の単位数が4単位で証明されている場合、本学では幼稚園又は小学校での教育実習（含む教育実習事前事後指導）5単位として認定することはできません。

③ 所有教員免許状による在職年数を資格にして隣接校種の免許状を取得する場合 (教育職員免許法第6条別表第8による取得)

所有している教員免許状による在職年数を資格にして、隣接校種の2種免許状を取得する場合は、教育職員免許法第6条別表第8を根拠として取得します。

受けようとする免許状	現在所有する免許状	現在所有する免許状を取得した後、当該学校において教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有することを必要とする最低在職年数（※ご自身でご確認ください。）	大学において修得を必要とする最低単位数（※本学通信教育部事務室にお問い合わせください。）
小学校教諭2種免許状	中学校教諭普通免許状	3年	12単位
	幼稚園教諭普通免許状	3年	13単位
幼稚園教諭2種免許状	小学校教諭普通免許状	3年	6単位

④ 大学卒業者で2種免許状を所有し、1種免許状に上進する場合

基礎資格として学士の学位（大学卒業）を有する方で、幼稚園または小学校2種免許状をすでに所有していて、それぞれの1種免許状の授与を受けようとする場合は、教育職員免許法第5条および教育職員免許法施行規則第10条の6を根拠として取得します。1種免許状にかかる単位数のうち2種免許状にかかる単位数はすでに修得したものとみなし、不足する単位数（各欄の1種の単位数から2種の単位数を引いた数）を修得することにより1種免許状を申請することができます。「教育職員免許法施行規則に定める科目と本学開講科目対照表」（p.104～p.105）を参照し、履修が必要な科目及び単位数を確認して、「履修届」（科目等履修生登録票裏面）に記入してください。

●教育職員免許法（部分抜粋）

第五条

普通免許状は、別表第一、第二若しくは第二の二に定める基礎資格を有し、かつ、大学若しくは文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関において別表第一、第二若しくは第二の二に定める単位を修得した者又は教育職員検定に合格した者に授与する。

別表第一（第五条、第五条の二関係）

第一欄		第二欄	第三欄		
免許状の種類	所要資格	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数		
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
小学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	8	41	34
	一種免許状	学士の学位を有すること。	8	41	10
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	4	31	2
幼稚園教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	6	35	34
	一種免許状	学士の学位を有すること。	6	35	10
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	4	27	—

◆教育職員免許法施行規則

第十条の六

小学校、中学校、幼稚園若しくは特別支援学校の教諭の二種免許状、養護教諭の二種免許状若しくは栄養教諭の二種免許状を有する者又はこれらの免許状に係る所要資格を得ている者が、免許法別表第一、別表第二又は別表第二の二の規定により、それぞれの一種免許状の授与を受けようとするときは、これらの別表の一種免許状に係る第三欄に定める単位数のうち二種免許状に係る第三欄に定める単位数は、既に修得したものとみなす。

2 前項の規定の適用を受ける場合の教職に関する科目、特別支援教育に関する科目、養護に関する科目又は栄養に係る教育に関する科目の単位の修得方法は、第六条、第七条、第九条、第十条、第十条の三及び第十条の四に規定する一種免許状に係る各科目の単位数から二種免許状に係る各科目の単位数を差し引いた単位数について修得するものとする。

3 免許法別表第一、別表第二又は別表第二の二の規定により小学校、中学校、幼稚園若しくは特別支援学校の教諭の一種免許状、養護教諭の一種免許状又は栄養教諭の一種免許状の授与を受けようとする者は、それぞれの二種免許状の授与を受けるために修得した科目の単位をこれらの別表の一種免許状に係る第三欄に掲げる単位数に含めることができる。ただし、第二条から第六条、第七条、第九条、第十条、第十条の三及び第十条の四に規定する二種免許状に係る各科目の単位数を上限とする。

⑤ 所有教員免許状による在職年数を資格にして特別支援学校教諭2種免許状を取得する場合
(教育職員免許法第6条別表第7)

所有している教員免許状による在職年数を資格にして、特別支援学校教諭2種免許状を取得する場合は、教育職員免許法第6条別表第7を根拠として取得します。

受けようとする免許状	現在所有する免許状	現在所有する免許状を取得した後、特別支援学校の教員(2種免許状の授与を受けようとする場合にあつては、幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校の教員を含む。)として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有することを必要とする最低在職年数 (※ご自身でご確認ください。)	大学において修得を必要とする最低単位数 (※本学通信教育部事務室にお問い合わせください。)
特別支援学校教諭1種免許状	特別支援学校教諭2種免許状	3年 (受けようとする免許状に定められていることとなる特別支援教育領域を担任する教員として在職した年数)	6単位
特別支援学校教諭2種免許状	幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状	3年	6単位

7. 幼稚園教諭1種免許状 開講科目対照表

●教育職員免許法施行規則に定める科目と本学開講科目対照表<平成10年改正法>

免許法施行規則に定める科目区分				左記に対応する開設授業科目				備 考		
	科 目	各科目に含める必要事項	最低単位数		科目コード	授 業 科 目	単 位			
			2種	1種			テキスト履修		スクーリング履修	
教職に関する科目	第2欄	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	2	20026	教職論	2		
	第3欄	教育の基礎に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	4	6	20001	教育原理	2		テキスト履修かスクーリング履修を選んでください
						20000			2	
						20027	幼児教育原理	2		
						20002	教育心理学	2		
						20018	幼児心理学	2		
						20031	教育社会学	2		
	第4欄	教育課程及び指導に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・保育内容の指導法 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	12	18	20034	幼児教育課程論	2		
						20123	保育内容の研究・健康	1	1	
						20124	保育内容の研究・人間関係	1	1	
						20125	保育内容の研究・環境	1	1	
						20126	保育内容の研究・言葉	2		
						20127	保育内容の研究・表現		2	
						20128	保育内容の研究・表現技術A		2	
						20129	保育内容の研究・表現技術B		2	
第5欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	2	20066	幼児理解	2			
					20065	教育相談（初等）	2			
第6欄	総合演習		2	2	20007	総合演習		2		
第6欄	教育実習		5	5	—	—	—	—	本学では、科目等履修生での教育実習の受講を認めていません。	
教科に関する科目	国語		4	6	20008	国語	2			
	算数				20009	算数	2			
	生活				20010	生活	2			
	音楽				20117	音楽	1	1		
	図画工作				20118	美術	1	1		
	体育				20014	体育	1	1		
教職科に又は			—	10	20003	教育哲学	2			
					20004	人権教育の研究	2			
第66条の6に定める科目	日本国憲法		2	2	10010	日本国憲法	2		テキスト履修かスクーリング履修を選んでください	
					10009			2		
	体育		2	2	10007	健康行動学	2		テキスト履修かスクーリング履修を選んでください	
					10006			2		
外国語コミュニケーション		2	2	10002	英語コミュニケーションⅠ		1			
					10003	英語コミュニケーションⅡ		1		
情報機器の操作		2	2	10008	情報基礎	2				

8. 小学校教諭1種免許状 開講科目対照表

●教育職員免許法施行規則に定める科目と本学開講科目対照表〈平成10年改正法〉

免許法施行規則に定める科目区分					左記に対応する開設授業科目				備 考	
	科 目	各科目に定める必要事項	最低単位数		科目コード	授 業 科 目	単 位			
			2種	1種			テキスト履修	スクーリング履修		
教職に関する科目	第2欄	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	2	20026	教職論	2		
	第3欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	4	6	20001	教育原理	2	2	テキスト履修かスクーリング履修を選んでください
						20000				
						20028		初等教育原理	2	
						20002	教育心理学	2		
						20017	児童心理学	2		
	20031	教育社会学	2							
	20030	教育制度	2							
	第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	14	22	20033	教育課程論（初等）	2		
						20046	教科教育法・国語	2		
						20047	教科教育法・社会	2		
						20048	教科教育法・算数	2		
						20049	教科教育法・理科		2	
						20050	教科教育法・生活	2		
						20051	教科教育法・音楽		2	
20052						教科教育法・図画工作		2		
20053						教科教育法・家庭	2			
20054						教科教育法・体育		2		
20035	道徳教育の研究（初等）	2								
20036	特別活動の研究（初等）	2								
20063	教育情報・技術論（初等）	2								
第5欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	4	4	20064	生徒指導論（初等）	2			
					20065	教育相談（初等）	2			
第5欄	総合演習		2	2	20007	総合演習		2		
第6欄	教育実習		5	5	—	—	—	—	本学では、科目等履修生での教育実習の受講を認めていません。	
教科に関する科目		国語（書写を含む） 社会 算数 理科 生活 家庭 音楽 図画工作 体育	4	8	20008	国語	2			
					20011	社会	2			
					20009	算数	2			
					20012	理科		2		
					20010	生活	2			
					20013	家庭	2			
					20117	音楽	1	1		
					20118	美術	1	1		
					20014	体育	1	1		
教科又は教職に関する科目			2	10	20003	教育哲学	2			
					20004	人権教育の研究	2			
					20120	外国語活動教育論	2			
第66条の6に定める科目	教育職員免許法施行規則	日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作	2	2	10010	日本国憲法	2	2	テキスト履修かスクーリング履修を選んでください	
					10009					
					10007	健康行動学	2	2		
					10006					
10002	英語コミュニケーションⅠ		1							
10003	英語コミュニケーションⅡ		1							
10008	情報基礎	2								

9. 特別支援学校教諭1種免許状（特別支援教育領域：知的障害者・肢体不自由者・病弱者）開講科目対照表

●教育職員免許法施行規則に定める科目と本学開講科目対照表

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目					
科目	最低単位数	科目コード	授業科目	中心となる領域	含む領域	単位	
						テキスト履修	スクーリング履修
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	20091	特別支援教育基礎理論	—	—	1	1
特別支援教育領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	20092	知的障害児の心理A	知的障害者	—	1	
		20093	知的障害児の心理B	知的障害者	—		1
		20094	知的障害児の生理・病理	知的障害者	—	2	
		20095	肢体不自由児の心理・生理・病理A	肢体不自由者	知的障害者 病弱者	1	
		20096	肢体不自由児の心理・生理・病理B	肢体不自由者	知的障害者 病弱者		1
		20097	病弱児の心理・生理・病理A	病弱者	知的障害者 肢体不自由者	1	
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	20098	病弱児の心理・生理・病理B	病弱者	知的障害者 肢体不自由者		1
		20099	知的障害児教育論ⅠA	知的障害者	—	1	
		20100	知的障害児教育論ⅠB	知的障害者	—		1
		20101	知的障害児教育論Ⅱ	知的障害者	肢体不自由者 病弱者	2	
		20102	肢体不自由児教育論A	肢体不自由者	—	1	
		20103	肢体不自由児教育論B	肢体不自由者	—		1
		20104	病弱児教育論	病弱者	—	2	
		援免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	20105	視覚障害児の心理・生理・病理	視覚障害者	—
20106	聴覚障害児の心理・生理・病理			聴覚障害者	—	1	
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	20107		視覚障害児教育指導法	視覚障害者	—		1
	20108		聴覚障害児教育指導法	聴覚障害者	—	1	
	20109		発達障害児教育論A	重複・LD等領域	—	1	
	20110		発達障害児教育論B	重複・LD等領域	—		1
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	—	—	—	—	本学では、科目等履修生での教育実習の受講を認めていません。	

<注> 所有教員免許状による在職年数を資格にして特別支援学校教諭2種免許状を取得する場合（教育職員免許法第6条別表第7を根拠とする場合）は、本学通信教育部事務室に事前にお問い合わせください。

10. 科目等履修生制度を利用した『保育士試験免除制度について』

平成22年の保育士試験より、**幼稚園教諭普通免許状を所有されている方は**、「指定保育士養成施設」（本学保育学コース）において筆記試験に対応する科目を科目等履修により修得すれば筆記試験科目が免除されることになりました。免除申請には、「指定保育士養成施設」が発行する「幼稚園教諭免許所有者保育士試験免除科目専修証明書」の提出が必要です。免除対象科目は、下表のとおりです。

なお、2013（平成25）年度保育士試験より筆記試験科目が変更となります。**本学通信教育部開講科目（次表参照）のうち、（2013年度以降本学開講科目）と表示のある科目は、2013年度保育士試験の免除申請には利用できませんので、ご注意ください。**

④筆記試験科目	指定保育士養成施設において修得した教科目	⑤本学通信教育部開講科目 (T : テキスト履修・S : スクーリング履修 数字は単位数)	2013年度「保育士試験免除制度」に利用できる本学通信教育部開講科目
社会福祉	社会福祉 相談援助	社会福祉論<T2>	※「相談援助」が、本学通信教育部では2013年度以降開講科目のため、2013年度保育士試験科目「社会福祉」の免除申請には利用できません。
		相談援助<S1> (2013年度以降本学開講)	
児童家庭福祉	児童家庭福祉 家族支援論	児童福祉論 I <T2>	児童福祉論 I <T2>
		家族援助論<T2>	家族援助論<T2>
子どもの保健	子どもの保健 I 子どもの保健 II	子どもの保健 I <T4> (2013年度以降本学開講)	※「子どもの保健 I」及び「子どもの保健 II」が、本学通信教育部では2013年度以降開講科目のため、2013年度保育士試験科目「子どもの保健」の免除申請には利用できません。
		子どもの保健 II <S1> (2013年度以降本学開講)	
子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養<T1+S1> (2013年度以降本学開講)	※「子どもの食と栄養」が、本学通信教育部では2013年度以降開講科目のため、2013年度保育士試験科目「子どもの食と栄養」の免除申請には利用できません。
保育原理	保育原理 乳児保育 保育相談支援 障害児保育	保育原理<T2>	※「保育相談支援」が、本学通信教育部では2013年度以降開講科目のため、2013年度保育士試験科目「保育原理」の免除申請には利用できません。
		乳児保育 I <T1+S1>	
		保育相談支援<S1> (2013年度以降本学開講)	
		障害児保育論 I <T1+S1>	
社会的養護	社会的養護 社会的養護内容	養護原理<T2>	養護原理<T2>
		養護内容<T1+S1>	養護内容<T+S1>
保育実習理論	保育内容総論 保育内容演習 保育の表現技術	保育内容の研究・総論<T2> (2014年度以降本学開講)	※「保育内容の研究・総論」が、本学通信教育部では2014年度以降開講科目のため、2013年度保育士試験科目「保育実習理論」の免除申請には利用できません。
		保育内容の研究・健康<T1+S1>	
		保育内容の研究・人間関係<T1+S1>	
		保育内容の研究・環境<T1+S1>	
		保育内容の研究・言葉<T2>	
		保育内容の研究・表現<S2>	
		保育内容の研究・表現技術A<S2>	
		保育内容の研究・表現技術B<S2>	

※対応する科目（⑤本学通信教育部開講科目）が2科目以上の場合、同一の指定保育士養成施設で修得することが必要です。

<例:④筆記試験科目「社会的養護」の受験免除を希望する場合は、⑤本学通信教育部開講科目「養護原理」と「養護内容」の科目等履修が必要です。>

④筆記試験科目に合わせた、⑤本学通信教育部開講科目全てに合格すれば、単位認定後の所定手続きにより「幼稚園教諭免許所有者保育士試験免除科目専修証明書」が発行されます。（単位認定は、科目修了試験又はスクーリングの各結果（合格）通知発送後の9月・3月の指定日に行います。）したがって、2013年度保育士試験出願時（例年5月上旬）に免除申請するためには、2013年3月までに単位認定された科目が対象となりますので、ご注意ください。

11. 科目等履修生開講科目一覧

■ 共通教育科目群

科目コード	授 業 科 目	単 位	
		テ キ ス ト 履 修	ス ク ー リ ン グ 履 修
10001	日 本 語 表 現	2	
10002	英語コミュニケーションⅠ<※1>		1
10003	英語コミュニケーションⅡ<※1>		1
10004	英 語	2	
10005	基 礎 体 育 学		1
テキスト履修…10007	健康行動学 <※2>	2	
スクーリング履修…10006			2
10008	情 報 基 礎	2	
テキスト履修…10010	日本国憲法 <※2>	2	
スクーリング履修…10009			2
10011	文 学	4	
10012	心 理 学	4	
10013	哲 学	4	
10014	経 済 学	4	
10015	法 学	4	
10016	社 会 学	4	
10017	地 理 学	4	
10018	文 化 人 類 学	4	
10019	数 学	4	
10020	生 物 学	4	
10021	栄 養 学	4	
テキスト履修…10023	多文化社会 <※2>	2	
スクーリング履修…10022			2
テキスト履修…10025	情報と社会 <※2>	2	
スクーリング履修…10024			2
テキスト履修…10027	国際理解教育論 <※2>	2	
スクーリング履修…10026			2
テキスト履修…10029	環境教育論 <※2>	2	
スクーリング履修…10028			2

※1「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」については、2科目とも受講する必要があります。
「英語コミュニケーションⅠ」→「英語コミュニケーションⅡ」の順に受講してください。

※2「健康行動学」「日本国憲法」「多文化社会」「情報と社会」「国際理解教育論」「環境教育論」は、テキスト履修かスクーリング履修を選択してください。

■ 児童教育学科 専門教育科目群

科目コード	授 業 科 目	単 位	
		テキスト履修	スクーリング履修
テキスト履修…20001	教育原理 <※3>	2	
スクーリング履修…20000			2
20002	教 育 心 理 学	2	
20003	教 育 哲 学	2	
20004	人 権 教 育 の 研 究	2	
20007	総 合 演 習		2
20008	国 語	2	
20009	算 数	2	
20010	生 活	2	
20011	社 会	2	
20012	理 科		2
20013	家 庭	2	
20014	体 育	1	1
20117	音 楽	1	1
20118	美 術	1	1
20017	児 童 心 理 学	2	
20018	幼 児 心 理 学	2	
20019	学 習 心 理 学	2	
20020	健 康 心 理 学	2	
20021	教 育 臨 床 心 理 学	4	
20022	発 達 心 理 学	2	
20023	社 会 心 理 学	2	
20024	青 年 心 理 学	2	
20025	家 族 心 理 学	2	
20026	教 職 論	2	
20027	幼 児 教 育 原 理	2	
20028	初 等 教 育 原 理	2	
20029	教 育 法 規	2	
20030	教 育 制 度	2	
20031	教 育 社 会 学	2	
20032	教 育 方 法 論	2	
20033	教 育 課 程 論 (初 等)	2	
20034	幼 児 教 育 課 程 論	2	
20035	道 徳 教 育 の 研 究 (初 等)	2	
20036	特 別 活 動 の 研 究 (初 等)	2	
20037	児 童 福 祉 論 I <※4>	2	
20038	児 童 福 祉 論 II <※4>	2	
20122	保 育 原 理	2	
20041	養 護 原 理	2	
20042	小 児 保 健	4	
20043	小 児 保 健 実 習		1
20044	小 児 栄 養		2
20046	教 科 教 育 法 ・ 国 語	2	
20047	教 科 教 育 法 ・ 社 会	2	
20048	教 科 教 育 法 ・ 算 数	2	
20049	教 科 教 育 法 ・ 理 科		2
20050	教 科 教 育 法 ・ 生 活	2	
20051	教 科 教 育 法 ・ 音 楽		2
20052	教 科 教 育 法 ・ 図 画 工 作		2
20053	教 科 教 育 法 ・ 家 庭	2	
20054	教 科 教 育 法 ・ 体 育		2
20062	保 育 指 導 法 の 研 究	2	

科目コード	授業科目	単 位	
		テキスト履修	スクーリング履修
20063	教育情報・技術論(初等)	2	
20064	生徒指導論(初等)	2	
20065	教育相談(初等)	2	
20066	幼児理解	2	
20067	社会福祉論	2	
20069	家族援助論	2	
20070	乳児保育Ⅰ <※5>	1	1
20071	乳児保育Ⅱ <※5>	2	
20072	障害児保育論Ⅰ <※6>	1	1
20073	障害児保育論Ⅱ <※6>	2	
20074	養護内容	1	1
20075	子どもと人権	2	
20076	現代保育論	2	
20077	西洋教育史	2	
20078	日本教育史	2	
20079	社会福祉援助総論	2	
20080	子育て相談・支援の理論と実際	2	
20091	特別支援教育基礎理論	1	1
20092	知的障害児の心理A	1	
20093	知的障害児の心理B		1
20094	知的障害児の生理・病理	2	
20095	肢体不自由児の心理・生理・病理A	1	
20096	肢体不自由児の心理・生理・病理B		1
20097	病弱児の心理・生理・病理A	1	
20098	病弱児の心理・生理・病理B		1
20099	知的障害児教育論ⅠA	1	
20100	知的障害児教育論ⅠB		1
20101	知的障害児教育論Ⅱ	2	
20102	肢体不自由児教育論A	1	
20103	肢体不自由児教育論B		1
20104	病弱児教育論	2	
20105	視覚障害児の心理・生理・病理		1
20106	聴覚障害児の心理・生理・病理	1	
20107	視覚障害児教育指導法		1
20108	聴覚障害児教育指導法	1	
20109	発達障害児教育論A	1	
20110	発達障害児教育論B		1
20113	ボランティア論	1	1
20114	時事問題からみる社会福祉	1	1
20115	公衆衛生論		2
20119	保育の心理学		1
20120	外国語活動教育論	2	
20121	保育者論	2	
20123	保育内容の研究・健康	1	1
20124	保育内容の研究・人間関係	1	1
20125	保育内容の研究・環境	1	1
20126	保育内容の研究・言葉	2	
20127	保育内容の研究・表現		2
20128	保育内容の研究・表現技術A		2
20129	保育内容の研究・表現技術B		2

※3 「教育原理」は、テキスト履修かスクーリング履修を選択してください。

※4 「児童福祉論Ⅰ」「児童福祉論Ⅱ」については、2科目とも受講する必要があります。〈除く保育士試験免除制度利用者〉

※5 「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」については、2科目とも受講する必要があります。〈除く保育士試験免除制度利用者〉

※6 「障害児保育論Ⅰ」「障害児保育論Ⅱ」については、2科目とも受講する必要があります。〈除く保育士試験免除制度利用者〉

■ 福祉臨床学科 専門教育科目群

科目コード	授 業 科 目	単 位	
		テ キ ス ト 履 修	ス ク ー リ ン グ 履 修
30000	社 会 福 祉 概 論	4	
30001	社 会 保 障 論	4	
30002	児 童 福 祉 論	4	
30003	障 害 者 福 祉 論	4	
30004	老 人 福 祉 論	4	
30006	地 域 福 祉 論	2	
30008	公 的 扶 助 論	2	
30011	福 祉 レ ク リ エ ー シ ョ ン 論	2	
30012	福 祉 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	2	
30013	社 会 福 祉 援 助 技 術 論 I <※7>	2	2
30014	社 会 福 祉 援 助 技 術 論 II <※7>	4	
30015	介 護 概 論	2	
30027	障 害 児 保 育 論 I <※8>	1	1
30028	障 害 児 保 育 論 II <※8>	2	
30029	ボ ラ ン テ ィ ア 論	1	1
30030	福 祉 と 人 権	2	
30031	時 事 問 題 か ら み る 社 会 福 祉	1	1
30032	子 育 て と 社 会	2	
30033	子 ど も と 人 権	2	
30034	発 達 心 理 学	2	
30035	社 会 心 理 学	2	
30036	家 族 心 理 学	2	
30037	青 年 心 理 学	2	
30038	家 族 援 助 論	2	
30039	公 衆 衛 生 論		2
30043	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病	1	1
30044	福 祉 行 財 政 と 福 祉 計 画	2	
30045	福 祉 サ ー ビ ス の 組 織 と 経 営	2	
30046	社 会 調 査 の 基 礎	2	
30047	保 健 医 療 サ ー ビ ス	2	
30053	就 労 支 援 サ ー ビ ス		1
30054	権 利 擁 護 と 成 年 後 見 制 度	2	
30055	更 生 保 護 制 度		1
30061	ス ポ ー ツ 生 理 学	2	
30062	ス ポ ー ツ 栄 養 学	2	
30063	ス ポ ー ツ 心 理 学	2	
30064	体 力 測 定 評 価	1	1
30065	ス ポ ー ツ 社 会 学	2	
30066	医 療 福 祉 論	2	
30067	海 外 の 福 祉	1	1
30068	生 涯 ス ポ ー ツ 学 習 論	2	
30069	子 ど も の 食 と 栄 養	2	
30070	子 ど も の 保 健	2	
30071	健 康 運 動 実 践	1	1
30072	養 護 児 童 援 助 論	2	

※7 「社会福祉援助技術論I」「社会福祉援助技術論II」については、2科目とも受講する必要があります。

※8 「障害児保育論I」「障害児保育論II」については、2科目とも受講する必要があります。